



結  
yui

2021. 3. 20 No.98

発行「憲法9条の会つくば」

〒305-0005

つくば市柴崎 68-103

TEL/Fax 029-858-2034



<http://peace.arrow.jp/tsukuba2/>

# 3・11から10年 さよなら原発！守ろう憲法！ 昼休み集会



大震災・原発事故の翌年の3月11日から毎年開催を続けた集会は、今年で9回目、そして大震災から10年目を迎えました。実行委員会はコロナ下でも10年目の集会是ぜひ開催したいと1月から準備を進めてきました。参加された皆さんも同じ思いを持たれたのか予想以上の参加者（約100人）で集会を開催することができました。



最初に2万2千人以上の犠牲者を悼み全員で黙禱し、その後主催者の山本千秋さんの挨拶がありました。山本さんは、落合恵子さんの言葉を紹介、「ものを言わない市民がものを言わない社会を作る。沈黙に安住しないでものを言い続けていこう」と呼びかけました。

挨拶のあと、国分富夫さん、大石光伸さん、手島直巳さんからお話がありました。3人のお話は1~2面で紹介します。集会アピールは、9条の会の武田さんが読み上げ、参加者の採択を得ました。また、会場でのカンパのお願いにご協力いただきありがとうございました。約47000円が集まったそうです。国分さんへの謝礼、会場の借用費用などに使用させていただきます。（穂積）

国分富夫さん：福島県相馬市黒木在住。原発事故被害者「相双の会」会長



事故から10年が過ぎた。10年とはどんな時間か？私達にとって10年とは、生きた心地のしない時間でした。政府は原発事故の被害は隠し、被災者の命は無視し、復興を強調します。復興とは何でしょうか？確かに道路や箱物はでき、街は作り替えられました。しかし避難している住民の多くは帰村しません。安心・安全が保障されていないからです。でも住民票を避難先には移していません。そして「自分が死んだら、お骨は故郷の墓に埋葬してくれ」と言います。故郷を思いながら帰村しない、つらい気持ちが示されています。「原発関連死」が

今年2月で2317人もいます。ほとんどが高齢の避難者です。原発事故で被害を受けた人々の苦難は今も続いています。

加害者は国と東電です。私たちは、国と東電の責任を追及し、謝罪させるため裁判を起こしました。高裁での100年賠償を実現する闘いは続きます。共に頑張りましょう。



## 大石光伸さん：東海第2原発運転差止訴訟原告団共同代表・常総生協前副理事長

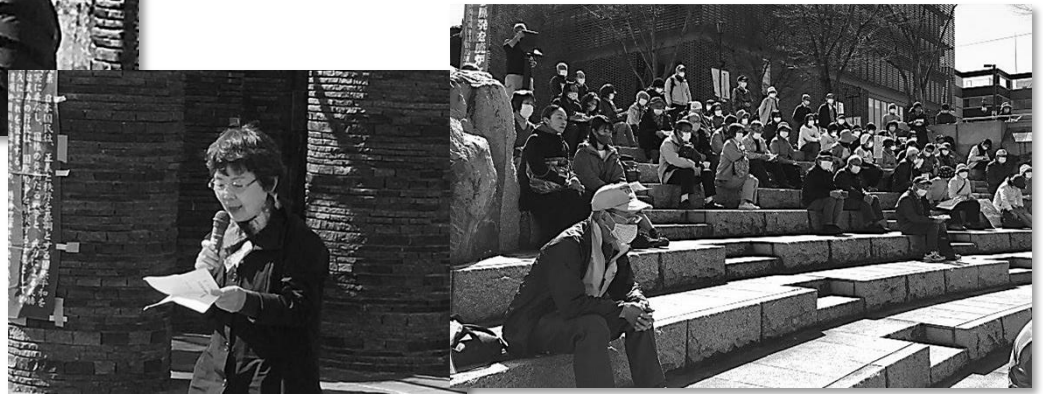
福島原発事故から10年。この間、加害者は何の責任も取らず、被害者を押しつぶしてきました。この日本のひどさを思うと、胸がつぶれる思いです。私は生協で仕事をしてきました。命を育む食べものとそれを食べて生まれる母乳なのに、命を傷つける放射能が出る、という理不尽さを放置してはいけなないと思い、東海第2原発再稼働反対の裁判に取り組んできました。その高裁判決が3月18日にありますが、勝っても、負けても闘いは続きます。これまでの口惜しさを胸に刻み、これからの10年も闘い続けたいと思います。



## 手島昌己さん：研学9条の会世話人



菅政権は日本学術会議の6名の任命を、理由を示さず拒否しました。これは日本国憲法が保障する「思想及び良心の自由」「学問の自由」への攻撃であり、ひいては平和を希求する日本国憲法そのものを変え、戦争できる国に変えようとするための準備です。学術会議が独立した地位を保ち、平和で民主的な国であり続けるよう、皆で力を合わせましょう。



## 《ブックレット》「いばらき原発県民投票—議会審議を検証する」

いばらき県東海村は、日本原子力発電（株）が日本で最初に商業用原子炉の運転を始めた所です。第二原発は2011年の震災津波で運転停止中でしたが、運転開始40年（2018年）で終了となることを原子力委員会が20年延長したため、原電は再稼働に動きます。その可否をどのように議論し決めたらよいか、「いばらき原発県民投票の会」《会》は、県民投票を一つの案として提起しました。

2020年1月から3月まで県内3,555人の受任者による請求署名集めが行われ、必要法定数の2倍近い86,703筆の署名が集まり、条例制定が県議会に請求されました。請求議案は、2020年6月の県議会審議で、賛成5反対53で否決されました。

条例の制定は、東海第二原発の再稼働の可否を決めるものではありません。再稼働をどう考えるか、県民に問う方法手続きを制定するものです。実施の時期は県知事の判断に委ね、投票結果は、県が再稼働を求められた時の判断根拠にしてもらうためのものです。

ブックレットは、①県民投票は民主主義をバージョンアップさせるためのものであったこと、②県議会での請求代表者の意見内容、③県議会審議を振り返って行われたシンポジウム内容、④県議会審議が露呈した民主主義の諸問題、⑤条例案の県議会での否決理由の検証、から成っています。《会》がめざしたのは、条例制定 → 県民投票の準備過程で、県民の中で幅広い真剣な議論がなされることであったことがこの内容からわかります。

読んでみて、県議会が、県民が時間をかけて熟議すべきである県民投票の道を、ただの一回の審議で、断ち切ったことへの疑問が沸きます。議会で反対した53の意見には、県民投票によって再稼働について県民の意向が明らかになると都合が悪い、という姿勢が見え隠れしていると感じました（上記⑤から）。三浦記

（2021年2月株・読書人発行、筑波大学准教授佐藤嘉幸・県民投票の会共同代表徳田太郎編集1100円、117頁）

### いばらき原発 県民投票 — 議会審議を検証する

佐藤 嘉幸  
徳田 太郎 編

民主主義を支えるのは個人ではない。地域共同体だ。地域共同体が、知的にも感情的にも個人を育て、初めて個人が投票する民主政治が健全になる。だが既に空洞化した地域共同体をどうすべきか。審議は、住民投票と、そのための準備だ。地方議会の出席目録を知れば、とても隠れて置けないと思うはずだ。本書を読めば全てが分かるだろう。

「原発地区住民投票条例の制定を求める住民投票請求」元請代表人  
「みんなの力で決まろう『原発』国政投票」元請代表人  
社会学者・宮台真司



## 「憲法9条の会つくば」の活動から



◆賛同人 2021年3月16日現在  
 総数 1008名 (市内 719名)  
 ◆改憲発議反対署名 3月16日現在 654筆

当会では毎月第3日曜日に定例署名、9日に9の日署名を行なっています。その他、「戦争をする国づくりNO@つくば」と共に、毎月3日「アベ政治を許さない」スタンディングと署名を行ないます。

### 2月3日、3月3日 スタンディング報告

▼戦争する国づくりNO! @つくば主催のスタンディング、2月は4名、3月は6名の参加でした。このところ新婦人、年金者組合、9条つくばからの参加者が固定メンバーです。いつも写真を撮ってくださる年金者組合のFさん、ありがとうございます。@つくばには20以上参加団体があるはずなので、暖かくなったら沢山参加してほしいです。プラカードや横断幕を持って立っているだけなので、「誰でもできるアピール行動」です。スガ政治に怒るみなさん、ぜひご参加を! (H)



### 定例署名 報告

▼2月の「9の日署名」活動は、つくばセンター広場において12:00~13:00まで行いました。この日の参加者は5名、北風が強く、寒い日でした。強風とコロナの影響もあってか通り過ぎる人もあまりなく、署名には結びつきませんでした。3月11日(木)の「さよなら原発! 守ろう憲法! 昼休み集会」のチラシを

配布しました。(T)

▼2月21日「定例署名日」はとても暖かい日でした。図書館前の人通りも多く、署名活動参加は2人でしたが署名は沢山集まりました。9条署名10筆、学術会議署名5筆の計15筆です。家族で、カップルで署名して下さいました。(H)

### 森発言に抗議の スタンディング

▼東京五輪・パラリンピック組織委員会の森会長(当時)の女性蔑視発言に怒りがフツフツ。新婦人の会員有志から抗議の行動をやりたいと声上がり、日頃からつながりのある女性たちに呼びかけて、2/12昼につくば駅前に12人が集まりました。それぞれ自作のプラカード等を掲げて立つと、道行く人たちも注目。世論の批判に耐え切れず森氏はこの日に辞任しましたが、その後の後任選びの経過を見ても、ジェンダー平等後進国の日本の姿が浮き彫りになりました。(佐藤)



## 憲法9条の会 会計報告

会計年度 2020年1月1日~2020年12月31日

### 収入内訳

賛同人カンパ(口座)	229,000
賛同人カンパ(現金)	44,000
つどい 中止	0
出会いのコンサート会場カンパ	16,700
参加費	89,000
学習会資料代	3,600
合計	382,300
今期のみ差引残高	-131,649

### 支出内訳

「結」関係	339,489
行事関係	145,221
つどい	0
署名関係	3,334
その他	25,905
合計	513,949

前期より繰り越し(口座)	381,690
繰り越し(現金)	149,341
合計	531,031

差引残高 399,382  
 ①+②-③

### カンパのお願い

今年もカンパのお願いをさせていただきます。長らくコロナ禍の中で、国民の暮らし、生業が大変な状況になっています。自助、共助では立ち行きません。こんな時こそ、不要不急な予算をけずり、国民の暮らし、生業への保障を思い切ってやる、これが政治の役割です。金額の多寡は問いませんので、皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

百年前の“わきまえない”女性たち

## 『大(だい) コメ騒動』

(2021年/日本映画/106分)

大正7年(1918年)、すべての権力を男が握っていた時代、生活を担う女性たちが立ち上がりました。

富山県の貧しい漁師町で、魚が獲れない時期、男たちが出稼ぎ漁に出ている間、女たちが米俵を蔵から担いで船積みされる浜まで運ぶ重労働で、ギリギリの日銭を得ていました。ところが、第1次大戦の特需による米の買い占めと日本軍のシベリア出兵を控えて、日ごとに米価が高騰していきます。自分たちが重い米を運んでいるのに、家族が生きていくために必要な米も買えません。

「コメを旅に出すなー!」おばば(室井滋)が浜のおかか(女房)たちを束ねて米の積み出し阻止に動きませんが、あえなく失敗します。みんなで大地主に陳情に行きますが、警察に妨害されます。この小さな騒動を地元の新聞が「暴動」と記事にして、全国に伝わります。

映画は、そうした人々の日常を、様々な視点から丁寧に描きます。

- 強い者にへつらい、自分より弱い者を虐げる男の生き方。
- 男に頼らなければ生きていけない女が、金を稼ぐために選ぶ道。
- 米が手に入らず、真っ先に痛手を負うのが子どもたち。
- 強い側に立ち、力で庶民を抑えつける警察。
- 売れるように煽動的に記事にするだけで、おかかたちが行動に立ち上がるしかない理由を掘り下げて報じない新聞社。
- 路上の弁士は、「資本主義は富める者と貧しい者の格差を拡大する」と諭すけれど…。

勉強して「自分の考え」を言う女性は疎まれます。本の好きな主人公いと(井上真央)の読む新聞でおかかたちは世の中の動きを知りますが、米問屋の女将の懐柔・分断の策で、いとは仲間からも「小賢しい女」と浮かされます。

### インフォメーション

#### ◆つくば中央メーデー

5月1日(土) 10:30~ZOOMでの開催(詳細は後日)

#### ◆茨城憲法フェスティバル

5月3日(月/祝) 13:30~(予定)

駿優教育会館(水戸駅前)8階

講師 伊藤千尋さん(フリージャーナリスト)テーマ「5人から始まる『憲法が生きる社会』コロナ禍の世界に学ぶ」  
\*賛同金(1口1000円)は講演会実施と朝日新聞への意見広告掲載のために今年もご協力お願いいたします。



いと(井上真央)の長男は、困窮の中での母の姿を見て、士官学校に入って軍人になって出征し金を稼ぐのだと言い出します。それを止めるいとは、「米がなかったら、兵隊さんは戦争に行けまい」と、再び米の移出阻止に立ち上がり

ます。「負けんまい!」——女性たちの「一揆」の行動が時代を切り拓く大きな希望となりました。

富山の「米騒動」は、井戸端会議から社会を変えた、日本の女性が初めて起こした市民運動と言われる出来事(映画パンフより)です。約百年前の日本に、男女差別、貧富の格差、戦争の影、フェイクニュース等々、現代に通じる様々な問題が存在します。その中で富山から全国各地に広がった運動は、「#MeToo」を思い起こさせます。

この年の9月に寺内正毅内閣が退陣に追い込まれ、5年後に関東大震災があり、翌大正13年に市川房枝らによる女性参政権運動が起こります。

「米騒動」は、富山を故郷とする本木克英監督が長年にわたって映画化を模索してきた題材です。室井滋のほか、同県出身の俳優たちやエキストラが、多数出演しています。書き下ろしの主題歌『愛を米(こめ)て』は、米米CLUBが歌い、全女性へのエールになっています。

本木監督は、「声を上げること、行動することが大事である」というのが大きなテーマだったと語ります。

(後藤)

### 行動予定

※コロナ問題の社会状況の変化により変更する場合があります。

3月20日(土) 世話人会・結98号発行 13:30~並木交流センター

3月21日(日) 定例署名 12:00~13:00 アルス前

4月3日(土) 続アベ政治を許さないスタンディング 13:00~つくば駅 A3 出口付近

4月9日(金) 9の日署名 12:00~13:00 アルス前

4月17日(土) 事務局会 10:00~市活予定

5月1日(土) つくば中央メーデー 10:30~ZOOMで開催。

5月3日(月) 憲法フェスティバル(水戸市内、詳細未定)

5月15日(土) 世話人会・結99号発行 13:30~並木交流センター予定